

令和2年度

鎚陵会総会



新校舎完成予定図

令和2年度鎚陵会総会同窓会は新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、本年度の総会は中止し書面決議とさせていただきます。この件に関するお問い合わせは、鎚陵会本部事務局へお願い致します。

校訓

克己
創造


第37期
卒業生

福岡県立築上西高等学校同窓会


主催：令和2年度「鎚陵会」総会実行委員会



校 歌




椎田高等女学校 校歌




作詞：近藤 義夫 作曲：宮崎 昇

一、天雲かかる^{ひこさん}英彦山は
国のしずめと神さびて
千秋稲穂秋みのる田の
眺めはひろし周防灘
あゝ海の幸^{くに} 陸の幸
椎田に永遠の栄あれ

二、汗のしたゝり結ばれて
花壇に春の夢かおり
空にボールのいきどおる
乙女心のうら若き
学も至誠勤勞の
我等の永遠の光あれ



築上西高等学校 校歌



作詞：島田 芳文 作曲：田村しげる

一、爽やかな世紀のあした
周防の海 潮の香かおる
明朗^{かぶら}の籙ヶ丘に
集いつつ伸びゆくわれら
叡智の泉 深くきわめん

二、^{うつ}美わしのますみの空に
^{くぼてさん}求菩提山そびゆるところ
朝な夕 不動の姿
仰ぎ見る^{わこうど}若人われら
理想のたかね 共に辿らん

三、^{つなしき}綱敷の 磯馴れの松は
すこやかに自信は強し
青雲の希望ははるか
胸はなり 湧きたつわれら
栄冠目ざし いざやきそわん

四、^{みとせ}螢雪の三歳の月日
^{つつが}恙なく^{ゆくて}行手は楽し
青春の窓に映らふ
文化の園^{つちこ} 培ふわれら
母校のに名を永遠にたゝえん

鎗陵会 会長 小野 慈 展



福岡県立築上西高等学校、同窓会「鎗陵会」の会員の皆様におかれましては益々ご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より母校・西校の活動や行事に対しまして、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

会員の皆様には、令和2年3月に名簿作成委託事業者「サラト」様より「鎗陵会会員名簿」を作成いたしました。お忙しい中、住所確認作業にご協力いただきたいへんありがとうございました。

このたび令和2年の鎗陵会総会を、令和2年8月22日土曜日に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のクラスター(集団感染)の予防の為、また、会場制限の関係上、鎗陵会会則・第15条総会開催を书面決議によることといたしました。

したがって、総会資料を検討の上、「承認書」の提出をお願いいたします。

どうか皆様には今後とも、同窓会と母校築上西高等学校の発展のために、おちからをお貸しいただきますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、新型コロナ禍の中、当番期三十七期のご努力を、同窓会役員を代表しまして心からお礼申し上げます。

また、会員の皆様の今後の益々のご活躍とご健勝、ご多幸を、そして築上西高等学校の発展を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



祝辞

福岡県立 築上西高等学校 校長 中尾 秀 幸



鎭陵会会員の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から会員の皆様からは、母校に対しまして、物心両面から温かい御協力と御支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今春の人事異動により、小倉高等学校副校長から昇任を受け、本校校長として着任いたしました中尾秀幸と申します。1万7千人を超える社会に有為な人材を輩出した輝かしい歴史と伝統ある築上西高等学校に校長として着任し、その責任の重みに身の引き締まる思いであります。本校教育の充実と発展のために微力ではございますが精一杯努めさせていただきますので、何卒よろしくお願いいたします。

さて、本校の状況ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、学校は臨時休業、分散登校を経て6月に入りようやく学校が完全再開し、生徒諸君の笑顔と明るく元気な声が校舎に戻って来ました。改めて生徒あつての学校であることを実感する次第です。

今年3月の卒業生の進路状況については、進学では、北九州市立大学を始めとした公私立4年制大学に14名、短期大学7名、医療系・一般専門学校47名、就職では、公務員3名、民間企業52名がそれぞれ合格を勝ち取っています。部活動においては、運動部では、レスリング部の全国大会出場を始め、陸上部が九州大会、弓道部が県大会に出場しました。文化部では、書道部が、揮毫大会で県大会出場、また、鎭陵同窓会総会を始め、様々な催しで書道パフォーマンスを披露しました。生徒諸君の素晴らしい活躍は、地域社会のみならず全国に築上西高等学校の名を広めています。他の全ての部活動も、人間力育成に向けて活発な活動を行っています。

私たち職員は、本校での教育活動全体を通じて、生徒諸君のしっかりとした学力と豊かな人間性を育み、社会に貢献できる逞しい人材の育成に向けて一丸となって取り組んで参ります。

結びに、同窓会会長を初めとした役員の皆様、そして当番幹事の皆様の御労苦に対しまして深く感謝を申し上げますとともに、鎭陵会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸を祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。

令和2年度「鎭陵会」総会実行委員会 実行委員長 幾田 誠 泰



本年度の当番を務めます高校37期卒業生(昭和60年卒)です。本年も鎭陵会実行委員会の活動に御理解と御協力を賜り37期生一同心より厚く御礼申し上げます。

皆様ご承知の通り今年におきましてはコロナウィルス感染拡大の影響で会場集合型の総会・懇親会の開催は残念ながら本部決議により中止となりました。

わたくしたちは、昨年1月に37期の同窓会を開催し60名程度の出席でしたが、実行委員会への参加協力をお願いをしました。そして8月に行われた定時総会で準当番期としての引継の催しをご披露させていただきました。メンバーのスケジュール調整がつかず僅か数回の練習・リハーサルだけで本番に臨みましたが結果は35年前の高校生の時が一瞬にして蘇ってきたようにまさしく今年度のスローガン「ONE TEAM」で楽しくご披露させていただく事が出来ました。

今年度の実行委員会は昨年9月に、令和元年度総会実行委員会(高校36期卒業生)の先輩から引継ぎました。スタート当初は実行委員会に参加できる人数も限られていましたが回を重ねるごとに参加協力してくれる同期生に恵まれ、又諸先輩方の沢山のアドバイスやご指導を仰ぎながら活動してまいりました。2月には協賛広告依頼活動のキックオフとなり委員会メンバーが「ONE TEAM」となり活動を始めた矢先に冒頭でもお伝えしました、コロナ禍の影響が拡大してきました。そんな厳しい状況の中でも実行委員会の責任感と情熱は衰えることなく活動を進めてまいりました。当然ながら自粛期間も設けながらの活動でしたが、このような状況の中でも地元企業様・諸先輩方そして同窓生からの御理解と御協力を快く御賛同いただいた結果十分な成果を達成できたことは何より嬉しく思いました。

今後とも母校であります築上西高等学校と鎭陵会が益々発展することを祈念申し上げますとともにこれからも微力ではありますが母校の為に支援していきたいと考えております。

次年度当番期(高校38期卒業生)の皆さんもこれから一年間、色々と大変な事があるかと思いますが、力を合わせて乗り越えてください。応援しています。

最後に総会誌発行に当たり、御協賛や御寄付を頂きました皆様、恩師の皆様方、鎭陵会関係者の皆様方の御支援・御協力に心より感謝申し上げますと共に、皆様方の御健勝を心より祈念申し上げます、当番期代表の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

令和2年度 福岡県立築上西高等学校 鎭陵会役員

役職名	期	氏名	住 所
会 長	26	重 松 信 行	築上郡築上町椎田1660
副 会 長	30	栗 焼 憲 児	京都郡みやこ町勝山長川368
副 会 長	31	浅 井 孝	豊前市八屋本町1573-13
副 会 長	36	永 井 和 美	築上郡築上町越路457-7
監 事	18	中 内 千 年	築上郡築上町岩丸1813-3
監 事	21	信 田 博 見	築上郡築上町越路1004-12

役職名	地区	期	氏名	住 所
委 員	築上町	30	中 嶋 秀 喜	築上郡築上町櫛原775-1
		33	中 江 博 吉	築上郡築上町椎田691-7
		35	武 道 修 司	築上郡築上町高塚1255-1
		36	杉 野 弘 幸	大分県中津市定留770-1
		38	下野園 公	築上郡築上町椎田868-6
委 員	豊前市	34	長 松 弘 貞	豊前市松江254-2
		35	石 丸 美由紀	豊前市中村86-1
委 員	行橋市	31	中 島 義 孝	行橋市元永577
		34	出 口 謙 一	行橋市東大橋3-18-12
		35	伊 藤 晴 美	行橋市東徳永263-1
		36	木 部 誠	行橋市西泉1-13-2
委 員	みやこ町	28	江 藤 高 広	京都郡みやこ町豊津63
		36	山 口 典 高	大分県中津市是則1384-9
委 員	苅田町	29	森 敏 明	京都郡苅田町葛川411-13
委 員	北九州市	27	神 崎 條 典	北九州市小倉北区砂津2-11-20-907

役職名	地区	期	氏名	住 所
理 事	学校職員	36	有 延 伸 一	築上郡築上町椎田1036-1
理 事	学校職員	46	黒 土 哲 治	行橋市西宮市1-11-10 メゾン行橋102
会 計	学校職員	35	杉 本 操	築上郡築上町築城560-1

鎚陵会会則

1. 総則 第1条 本会は、福岡県立築上西高等学校鎚陵会と称し事務所を母校（福岡県立築上西高等学校：福岡県築上郡築上町椎田764番地）に置く。
- 第2条 本会は、会員相互の交誼を認め母校の発展に協力し併せて地方文化の向上に資することを目的とする。
2. 会員 第3条 会員を分けて下の2種とする。
- 1 普通会員 普通会員は椎田実業女学校、椎田高等実業女学校、椎田高等女学校、椎田高等学校併置中学校及び築上西高等学校の卒業生とする。
 - 2 特別会員 特別会員は現職員、旧職員及び本会に功勞のあったものとする。
- 第4条 会員は入会に際して入会金を納めなければならぬ。入会金の額は総会に於いて決める。但し、特別会員はこの限りではない。
3. 事業 第5条 本会は、その目的を達するため下の事業を行う。
- 1 会員の修養をはかる。
 - 2 会員相互の親睦をはかる。
 - 3 母校の発展に協力する。
 - 4 郷土文化の向上に資する。
 - 5 その他必要と認める事業を行う。
5. 役員 第6条 本会に下の役員を置く。
- 1 会長：1名
 - 2 副会長：3名
 - 3 理事：若干名
 - 4 委員：若干名
 - 5 会計：1名
 - 6 監事：2名
- 第7条
- 1 会長、副会長は総会において会員中より推薦する。
 - 2 理事は委員の互選により選出する。尚、必要に応じて常任理事を選出することができる。
 - 3 会長の指名により母校教職員中より若干名理事を委嘱する。
 - 4 委員は、期別委員及び地方別委員の2種とし、期別委員は各期毎に2名以上、地方別委員は校区内町村別に2名以上を選出する。但し、期別委員と地方別委員の兼任を妨げない。
 - 5 監事は総会で選出する。
- 第8条 役員任期は2年とし、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。但し、重任は妨げない。
- 第9条 会員は、本会を代表し一切の会務を統轄する。
- 第10条 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時はこれを代行する。
- 第11条 委員は学校と地方会員との連絡にあたる。
- 第12条 会計は本会の会計に関する一切の事務を処理する。
- 第13条 監事は会計を監査する。
5. 機関 第14条 本会の下に機関を置く。
- 1 総会
 - 2 理事会
 - 3 委員会
- 第15条 総会は本会の最高議決機関で毎年8月に開く。但し、会長に於いて必要ありと認めたる場合は臨時に開くことができる。
- 第16条 理事会は総会より委任されたる事項その他緊急事項について審議する。
- 第17条 委員会は主として会員相互並びに学校との連絡にあたり、事業の遂行に協力する。
6. 会計 第18条 本会の経費は入会金、公費、寄附金及びその他の収入を以てこれにあたる。
- 本会の予算及び決算は理事会の審議を経るものとし、これを総会において議決するものとする。
7. 雑則 第19条 会員の慶弔に関しては、別にこれを定む。
- 第20条 本会会則の変更は総会の議決を要する。
8. 附則 この会則は昭和27年8月10日より実施する。
- 昭和61年8月17日 会則の一部を変更する。
- 平成11年8月8日 会則の一部を変更する。

※会則とは別に慶弔規定を以下のように定める。
理事以上の役員について下のように定める。
本人及び配偶者死亡の場合は花輪と香典を併える。
○本人の場合 香典1万円、花輪1対2万円
○配偶者の場合 香典のみ1万円

鎚陵会歴代会長

			
就任年度 昭和31~	就任年度 昭和33~	就任年度 昭和35~	就任年度 昭和38~
氏名 北代 充明	氏名 渡川 勝己	氏名 吉留 恵須良	氏名 蛭崎 リツ
卒年 27	卒年 31	卒年 27	卒年 3
			
就任年度 昭和41~	就任年度 昭和48~	就任年度 昭和54~	就任年度 昭和56~
氏名 吉田 英治	氏名 出口 定	氏名 坂井 康隆	氏名 小野 博敏
卒年 27	卒年 28	卒年 33	卒年 29
			
就任年度 昭和60~	就任年度 昭和62~	就任年度 平成2~	就任年度 平成9~
氏名 越路 信章	氏名 末次 國隆	氏名 野正 哲夫	氏名 川崎 洋
卒年 27	卒年 30	卒年 30	卒年 38
			
就任年度 平成13~	就任年度 平成18~	就任年度 平成26~	就任年度 平成28~
氏名 安部 晋司	氏名 中内 千年	氏名 信田 博見	氏名 小野 慈展
卒年 36	卒年 41	卒年 44	卒年 47

令和元年度 部活動実績一覧表

種別	大会名	開催地	開催月日	参加人数
全国大会	JOCジュニアオリンピック 全日本ジュニアレスリング選手権	横浜市	H31.4.26~H31.4.28	2人
	全国総体高等学校レスリング選手権大会	玉名市	R1.7.28~R1.8.1	3人
	全国高校生 グレコローマンレスリング選手権	堺市	R1.8.16~R1.8.19	5人
	国民体育大会	水戸市	R1.9.27~R1.10.1	2人
	全国高等学校選抜レスリング大会	新潟市	中止	2人
九州大会	全九州高等学校レスリング大会	玉名市	R1.6.14~R1.6.16	5人
	JOCジュニアオリンピック九州ブロック予選 レスリング九州選手権大会	宮崎市	R1.12.23~R1.12.25	9人
	全九州高等学校新人レスリング大会	日置市	R2.1.31~R2.2.2	9人
	全国高校総体陸上競技選手権大会 (インターハイ予選)北九州ブロック大会	諫早市	R1.6.13~R1.6.16	1人
	全九州陸上選手権大会	鹿児島市	R1.8.23~R1.8.25	1人
県大会	県高校生グレコローマンレスリング大会	築上郡	H31.4.13	11人
	県高等学校レスリング選手権 兼 九州大会県予選	福岡市	R1.5.25~R1.5.26	12人
	県高等学校レスリング新人大会 兼 九州大会県予選	福岡市	R1.11.2~R1.11.3	9人
	県選手権大会兼国体選考会(陸上)	福岡市	H31.4.28~H31.4.30	1人
	全国高等学校総合体育大会 陸上競技選手権大会(インターハイ予選)	福岡市	R1.5.24~R1.5.26	3人
	国体選考会兼学年別大会(陸上)	福岡市	R1.7.6~R1.7.7	1人
	県高等学校新人陸上競技大会 兼 九州大会県予選	北九州市	R1.9.23~R1.9.24	2人
	全国高等学校総合体育大会 弓道選手権大会(インターハイ予選)	福岡市	H31.4.28	1人
	県高等学校弓道新人大会 兼 九州大会県予選	福岡市	R1.10.19~R1.10.20	1人

令和元年度 進路状況

(令和2年3月31日現在)

大 学	人数
北九州市立大学	1
九州共立大学	3
九州国際大学	5
関西国際大学	1
梅光学院大学	1
久留米工業大学	1
西日本工業大学	1
九州産業大学	1
計	14
短期大学	人数
大分県立工科短期大学校	1
西日本短期大学	1
九州女子短期大学	1
東筑紫短期大学	4
計	7
医療系専門学校	人数
北九州看護大学校	1
健和看護学院	3
北九州リハビリテーション学院	1
小倉リハビリテーション学院	4
おばせ看護学院	2
豊前薬上医師会看護高等専修学校	1
計	12
専門学校	人数
福岡医療秘書福祉専門学校	1
福岡こども専門学校	1
福岡デザイン&テクノロジー専門学校	1
KCS北九州情報専門学校	3
平岡調理・製菓専門学校	1
北九州市立高等理容美容学校	1
北九州自動車大学校	3
麻生建築&デザイン専門学校	1
福岡ビューティーアート専門学校	2
駿台観光&外語ビジネス専門学校	2
北九州保育福祉専門学校	3
麻生医療福祉専門学校	1
福岡建設専門学校	2
大原医療福祉製菓専門学校	3
福岡美容専門学校	3
麻生情報ビジネス専門学校	1
大原自動車工科大学校	1
Be-staff 博多校	1
麻生公務員専門学校	1
九州ビジュアルアーツ	1
大原簿記公務員専門学校	1
KCS福岡情報専門学校	1
計	35

公 務 員	人数
一般曹候補生	1
自衛官候補生	2
計	3
就 職 (民間企業)	人数
トヨタ自動車株式会社	1
TOTOサニテクノ株式会社	1
ダイハツ九州株式会社	3
株式会社ハンスマン	1
トヨタ自動車九州株式会社	1
日産自動車九州株式会社	1
日産車体九州株式会社	2
日立オートモティブシステムズ株式会社	1
黒崎播磨株式会社 ファーネス事業部	1
株式会社九州鉄鋼センター	1
河村化工株式会社	3
株式会社九州イノアック	3
ユニプレス物流株式会社	1
株式会社にしけい	1
株式会社ワールドストアパートナーズ	1
岡住工業株式会社	3
株式会社ケイエス電子 カーブス事業部	1
九州ホイール工業株式会社	1
株式会社コスモス薬品	1
株式会社ニッケン鋼業	1
株式会社紀之田屋	1
株式会社カワムラ九州	1
豊鋼材工業株式会社	2
休暇村志賀島	1
高村工業株式会社	1
ハーヴェストクラブ京都鷹峯	1
株式会社啓愛社 自動車部品事業部	1
ニシラク乳業株式会社	1
東プレ九州株式会社	1
雷双シート株式会社	1
日鉄ロールズ株式会社	2
フォルシア・ニッパツ九州株式会社	1
株式会社九州フジパン	1
株式会社ヨロズ大分	1
佐川急便株式会社	1
株式会社シンダイ	1
豊前東芝エレクトロニクス株式会社	1
日鉄ポルテン株式会社	1
計	49

コロナ禍の今こそ西高の現状と将来をみんなで考えよう

鎗陵会 北九州支部 支部長

野口 時 晴 (高校11期卒)



同窓の皆さん、こんにちは。本部役員、当番幹事の皆さん、ご苦労さまです。

今年はコロナウイルス感染拡大防止のため、総会時の交流懇親会は中止だそうです。

1年掛けて準備してきた当番幹事の皆さん、本当に残念でお気の毒です。こういうこともあると学ぶしかありません。さて、母校創立100周年から7年経過しました。早いものです。第2世紀の西高はどのように発展するのでしょうか。

1.ピンチはチャンス

2020年は東京五輪の待ちに待った輝かしい年になるはずでした。しかし、コロナウイルスが世界を席卷し、オリンピックも延期、外出自粛、人が集まることも、仕事に行くこともできない最悪の年になりました。学校も約2ヶ月休校、前代未聞。どの組織にとっても、大ピンチです。こういうときに何をすべきかで、組織のあり方が決まります。あえて言えば、こういうときの思考は「ピンチはチャンス」です。

ここは西高の同窓会ですから、西高の将来について考えます。私学なら、理事会や、学校の教師は真剣に考えるでしょう。しかし公立学校ではなかなかそうはなりません。校長以下全員、県の職員ですから、西高の将来を真剣に考えるのは同窓会しかないのです。同窓会が明確なビジョンをもち、学校と話しをすることしか、理想と描く未来は実現しないのです。

2.今は静かに考える時

大学進学有名校だけが、優れた学校ではない。「東大までの人」育てなら、進学校は意味を成さない。確かに、現状一流大学卒業生が社会の重要ポストをしめている。しかし、かつての松下幸之助氏、本田宗一郎氏、そして現代最高の経営者の一人に数えられる稲盛和夫氏、建築の安藤忠雄氏など、社会を変えるほどの人材は大学を出ていないか、トップの大学ではないという現実もあります。社会で通用する人間の育成、これが目指すべき西高の姿です。そのための方策を考えるのが、今の休戦状態のときの思考だと思います。

3.西高の未来・在るべき姿

進学校が受験勉強で頑張っている3年間に、西高生は自分の進むべき職業について考え抜きそのために必要な勉強、社会体験をする、それを可能とする学校づくりをする。同窓会は学校と西高のあるべき姿について、話し合う場を定期的に作る。

福岡県に1高だけそういう学校があります。西高とよく似た環境とっていいでしょう。

この10年間毎年この同窓会誌を通じて、主張してきました、同窓校長の吉川校長はかなり同調、頑張ってくれましたが、今はどうなのでしょう。そろそろ私も潮時、引き下がろうと思っています。あとは、同窓会幹部、学校当局の頑張りに期待するほかありません。

4.まとめ。同窓会への提言、北九州支部、我が学年

本部体制強化、支部同窓会を作り、社会で頑張っているOB紹介—現高校生徒にも紹介、たてのつながりの強化。西高の弱点、母校愛、同窓の横のつながりをどう強めてゆくか。

北九州支部なかなか後輩に吾こそはという剛の者が出てきません。同窓意識の低さを感じるこの頃です。我が学年(高校11期、S34年3月卒)学年同窓会は36回を重ね、この4月は流石に中止しました。80歳を超えての開催のあり方が問われています。

個人的には43年間のジョギングの距離があと3千kmで12万km、来年の5月頃、地球三周となります。80歳を超えても動ける体に感謝しつつ、もう少しいろんな方面に頑張りたいと思っています。

恩師の ことば

西高37期生の皆さんへ

1組担任 恒遠 俊輔



令和2年度「鎭陵会」総会の開催に向け準備をしてくれた37期生の皆さん大変ご苦勞様でした。37期生をはじめ、皆さんと久しぶりに会いたかったのですが、コロナ禍のご時世では仕方ありません。

さて、先日、37期実行委員から「鎭陵会」の件でご連絡を頂き、早速卒業アルバムのページをめぐってみました。そこには色々な意味で懐かしい顔ぶれが並んでいて、あんなこともあった、こんなこともあったと、様々な思い出が蘇ってきます。当時、私は40歳のチョット手前。今にして思えば、全く以てつまらない教師でした。大した授業も出来ずに、自分が伝えたいことが皆さんには伝わらず、皆さんの生き方に迫ることも叶わず、自分の非力さを痛感していた時期だったように思います。また、管理主義的な教育がまかり通っていて、とりわけ全校集会や校門前での服装のチェックが、私にはあまり意味のないことのように思えて大変苦手でした。「ヒトは見かけじゃなく中身が問題なのだ」などと口にすれば、たちまち孤立し、「生徒をダメにする教師」というレッテルを貼られてしまうのです。もう限界だ、どうやら自分には教師という仕事は向いていない、そう考え始めたのがこの頃だったのかも知れません。築上西高校には26年間という永い間お世話になりましたが、48歳の時に教員生活に終止符を打つことにしました。そして、豊前市の求菩提山の麓にある歴史資料館に勤務することになったのでした。そこで19年間勤務しましたが、それなりに充実した時間を過ごすことができたような気がしています。皆さんが高校を卒業してからもう35年の歳月が流れてしまったのですね。今や皆さんは、いわば人生の折り返し点にさしかかっているとは言え、まだまだ働き盛りで充実した日々を送っていることと思います。これからは政治的にも経済的にも、また社会的にも大変な時代が待ち受けていると思いますが、どうか時代の波に押し流されることなく、しっかり足を踏ん張って生きて行って欲しいと願っています。私はもう70歳代の半ばを過ぎようとし、命の時間も次第に少なくなってきましたが、残された時を精一杯「善く生きたい」と思っているところです。みなさん、お元気で。

我がふるさと～西高

2組担任 秋満 英一



37期生の皆さん、日頃の大変忙しい中を令和2年度築上西高等学校鎭陵同窓会の当番幹事をつとめていただき、大変お疲れさまでした。心より感謝いたします。当番幹事としてこの大変な時期での準備に日常生活のさまざまな制約を受けながら、今までにないご苦労があったのではないかとお察しいたします。今年は、皆さんとお目にかかれることをとても楽しみにしておりましたが、新型コロナウイルスによりそれも叶わずとても残念でなりません。

私は、昭和57年4月に築上西高校に赴任して以来31年間の現役生活を経、平成29年3月まで再任用で4年間、合計35年間で西高の教員として無事その役目を終えることができました。私の人生の半分は西高で過ごしたことになります。なかでも西高に赴任して二年目に創立七十周年を迎え、八十周年、九十周年、百周年と四度の記念すべき節目に立ち会えたことはこの上ない光栄なことだと思っています。

担任としては、昭和60年3月(第37回)に西高で初めて卒業させたクラス以来、平成2年(第42回)、平成15年(第55回)、平成17年(第57回)、平成25年(第65回)の計五回生徒を送り出すことができ、特に平成24年度は、現役最後の担任として生徒とともに卒業ができたことが印象に残っています。

また教師として冥利に尽きることは、西高で最初に担任した第37期生(二組)の皆さんとの関わりが特に深く、いまだに親しく交流ができています。今年で私は六十八歳になりましたが、立派な社会人として活躍される皆さんも五十代、まさに「光陰矢の如し」ですね。皆さんと出会えたことに感謝、感謝です。

35年間の思い出は、振り返ればまだまだいろいろありますが、到底ここでは語り尽くし得ません。ただ言えることは、築上西高校が私自身を人間として育ててくれた恩師であり、親であるということです。今は西高を離れてはいますが、また帰って来たい「ふるさと」として常に心に抱き続けています。

築上西高校も今年で創立107年、校舎全面改築で令和8年には新校舎が完成の予定です。私を含め、卒業生の皆さんにとっては、かつて通った懐かしの学舎がなくなってしまう寂しさはありますが、明るい未来の西高、新生西高に向けてその発展を卒業生としてバックアップしてあげて欲しいと思っています。私も西高発展のために微力ながらお力添えができればと思っています。

最後になりましたが、当番幹事の皆さまのご労苦に敬意を表しますとともに、鎭陵同窓会の益々のご発展と、会員の皆さまのご健勝ご活躍を心からお祈りしご挨拶とします。

この大変なご時世の中、皆さまくれぐれもご自愛ください。

令和2年度「鎭陵会」総会実行委員会 役員名簿

役員名	氏名	組	備考
実行委員長	幾田 誠 泰	2組	
実行副委員長	棚 町 寿 臣	1組	
事務局 長	戸 旗 ルミ子 (旧姓 小柳)	5組	
事務局 次長	惟 野 まさみ	3組	
会 計	田 原 さつき (旧姓 二木)	3組	豊前・上毛・吉富地区ブロック長
	山 中 真紀子 (旧姓 田中)	3組	
監 査	森 永 聡 美 (旧姓 三角)	4組	苅田・北九州地区ブロック長
	池 浦 伸 代	4組	
事務局 員	岩 野 めぐみ (旧姓 三坂)	1組	
	吉 瀬 克 己	1組	みやこ地区ブロック長
	清 水 和 人	1組	
	石 丸 秀 利	1組	
	山 内 智 子 (旧姓 島津)	1組	
	高 橋 真知子 (旧姓 吉田)	1組	
	連 汐 徹	2組	
	石 崎 晃 依 (旧姓 信田)	2組	
	小 野 亜 海	3組	築上地区ブロック長
	石 井 良 介	4組	
	向 井 聡 司	4組	
	瀬 口 由美子 (旧姓 角本)	4組	
	成 清 真名美	4組	
	延 塚 由 香 (旧姓 前田)	4組	
	河 村 洋	5組	
	木 村 芳 広	5組	
	三 村 裕 一	5組	
	戸 麻 隆 浩	5組	
	扇 山 隆	5組	
	養 父 英 明	5組	
	神 野 祥 二	5組	行橋地区ブロック長
	井 田 多鶴子	5組	
	宮 崎 佳 子 (旧姓 田端)	5組	
中 川 町 子 (旧姓 平原)	5組		
野 島 弥津子	5組		
渡 邊 博 美 (旧姓 矢原)	6組		



当番期アルバム



 **CLASS
MATE**



次年度当番期挨拶

令和2年度「鎭陵会」総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議となってしまいました。来年度は我々が当番期を務めることとなります。

ご承知の通り、新型コロナウイルスが世界中に猛威を振るい「命を守るために人との接触を減らす」といった1年前には私たちが誰も想像しないような世界となりました。こんな時代だからこそ、「鎭陵会」という諸先輩方より引き継がれたタテとヨコの繋がりをもっと大切にしていきたいと改めて感じるところです。

現在はコロナ禍の動向も注視しながら、いかに準備を進めるべきかを模索しているところです。本来なら9月に37期の先輩方から引き継ぎを受け本格的に活動を始めるところですが、このコロナ禍にあつては同期の多くの仲間が集うことすら難しい状況です。今はただ新型コロナウイルス感染症が1日も早く終息することを願うばかりです。終息の目途がつけば、なるべく早い段階で同期の仲間と力を合わせて分からないことばかりで不安だらけの未熟な我々ですが、何卒先輩方や関係者の温かいご支援とご指導を頂けますようお願い申し上げます。結びに当たり母校の益々のご隆盛と皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

次期当番期一同

「高校38期生」(昭和61年卒)

